



2025年12月19日

各 位

会社名 株式会社kubell
代表者名 代表取締役兼社長 山本 正喜
上級執行役員CEO
(コード番号：4448 東証グロース)
問合せ先 取締役兼上級執行役員CFO 井上 直樹
ir@kubell.com

連結子会社株式の追加取得による完全子会社化及び スターティアホールディングスグループとの業務提携に関するお知らせ

当社は、2025年12月19日開催の取締役会において、スターティアレイズ株式会社（以下、「スターティアレイズ社」といいます。）が保有する、当社連結子会社である株式会社kubellストレージ（以下、「kubellストレージ社」といいます。）株式の譲受（以下、「本株式取得」といいます。）により同社を完全子会社とすることを決議いたしました。あわせて、kubellグループはスターティアホールディングスグループ（スターティアホールディングス株式会社・クラウドサーカス株式会社）と業務提携を開始いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本業務提携による連結売上高の増加見込額は、業務提携の予定日の属する連結会計年度の開始日から、3年内に開始する各連結会計年度のいずれにおいても10%を下回る見込みであるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

記

1. 本株式取得の目的

当社は、2021年7月1日付でスターティアレイズ社のクラウドストレージ事業を会社分割することにより新設会社であるkubellストレージ社を設立し、新設会社をスターティアレイズ社との合弁会社とするため、スターティアレイズ社よりkubellストレージ社の一部株式51%を譲り受け、スターティアレイズ社との緊密な協力関係の下、事業基盤を築いてまいりました。今般、今後の事業環境が加速的に変化していく中、kubellストレージ社をさらなる成長軌道に乗せるためには、より一層の迅速な意思決定と、柔軟な投資判断が可能な体制構築が不可欠であると判断し、kubellストレージ社を完全子会社化することといたしました。

2. kubellストレージ社の概要

(1) 名称	株式会社kubellストレージ	
(2) 所在地	東京都港区南青山1-24-3 WeWork乃木坂	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中 哲成	
(4) 事業内容	クラウドストレージ事業の開発運営	
(5) 資本金	56,000千円	
(6) 設立年月	2021年7月1日	
(7) 決算期	12月31日	
(8) 大株主及び持株比率 (本株式取得前)	株式会社kubell 51.0% スターティアレイズ株式会社49.0%	
(9) 上場会社と当該会社 との関係	資本関係	当社が当該会社の株式(持株比率 51.0%) を所有しております。
	人的関係	当社が取締役2名を派遣しております。
	取引関係	当該会社より顧客の紹介を受けております。

3. 本株式取得の相手先の概要

(1) 名称	スターティアレイズ株式会社
(2) 所在地	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 健太
(4) 事業内容	バックオフィスDX支援事業
(5) 資本金	9,000万円
(6) 設立年月	2017年11月10日
(7) 大株主及び持株比率	スターティアホールディングス株式会社 100.0%

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	5,100株 (議決権所有割合 : 51%)
(2) 取得株式数	4,900株
(3) 異動後の所有株式数	10,000株 (議決権所有割合 : 100%)
(4) 謹渡日	2026年1月1日 (予定)

※譲渡価額につきましては、当事者間の守秘義務により非開示といたします。

5. 業務提携の概要

本株式取得に関連して、kubellグループとスターティアホールディングスグループは業務提携を開始いたしました。

当社は、ビジネスチャット「Chatwork」を通じて業務効率化の支援を行っております。2023年からは「タクシタ（Chatwork アシスタント）」の提供を開始し、人とAIなどのテクノロジーの力を掛け合わせることで、お客様のDXを本質的に実現するビジネスモデル「BPaaS」の展開を推進しています。これにより、BPaaSで「働く」を変えるプラットフォームを提供する会社へと、事業領域を拡張し続けております。

一方スターティアホールディングスグループは、DXソリューション(事業会社:クラウドサーカス株式会社)とITインフラ(事業会社:スターティア株式会社等)を通じ、中小企業のデジタルシフトを進めています。「最先端を、人間らしく。」をコーポレートスローガンに、デジタル技術やサービスを、分かりやすく寄り添って提供します。

本提携により、当社の持つビジネスチャットによる「強力な顧客接点（プラットフォーム性）」および「業務代行などのオペレーション機能」と、スターティアホールディングスグループが保有する「ITインフラ顧客基盤」および「業務特化型SaaSのラインナップ」を戦略的に掛け合わせることによって、中堅・中小企業のお客様に対し、より包括的かつ多面的な経営課題の解決を実現いたします。これらの連携を通して、両社は中堅・中小企業における顧客基盤の更なる拡大と、BPaaS領域における市場シェアの拡大に貢献してまいります。

6. 今後の見通し

本株式取得および業務提携が当社の連結業績に与える影響は軽微です。今後開示すべき事項が生じた際には、速やかにお知らせいたします。

以上